



# しゅうら

おもな内容

- 2 P年頭のあいさつ
- 3 P成人式へどうぞ
- 4 P冬の交通安全
- 5 P児童手当の支給範囲  
拡大
- 6 P小学校入学予定者名簿
- 7 P保健衛生・戸籍の窓
- 8 Pふるさとの歴史



## 新雪に送る肥育牛

○…村営の岩井放牧場にある畜産センターで、いま、四十五頭の牛が肥育されている。

○…これは昨年の三月から四月までに生まれた子牛ばかりで、村が飼育農家から十万円前後に買い取り、十一月から肥育管理しているもの。

○…約一年後にはそれぞれ、中央市場に出されるが、一頭当りの粗収入は二十五万円から三十万円見込まれ、純収益でも五万円は堅い。

○…多頭飼育のモデルケースだけに農家の人たちの関心は高く、結果がよければ広く普及されること請(う)け合い。

○…畜産の振興によって農家所得の向上をはかることは、関係者がかねてから念願しているものだが、いまその一歩を踏み出したという感じだ。

○…ことしは「丑」(うし)年多いにかせぎまわってほしいもの。歩みは鈍くても力強く前進するために。

新雪に覆われた岩井放牧場で遊ぶ肥育牛



1

上旬号  
No.77

# 住民優先の村政を進める

## 適合した工場誘致にも努力

村長 白川治三郎



でもなく、村は人間の喜びを広げる生活の場であり、人間の豊かさを高める生産の場であり、人間の安らぎを深める休息の場でもあります。

わたくしは、これまで住民優先の村政を進めるべく努力してきましたが、先ず、出かせぎ留守家庭における子どもへの健全育成をはかるため、内職の導入を積極的に推進し、ようやく軌道に乗ってまいりました。さらにこれを基盤に今年は規模の拡大をはかりたいと考えております。

また、関連する農林工業の振興にも意を注ぎ、役でも出かせぎの解消に努力してまいりております。本村に適合した工場誘致も昨年中にメドが付き、本年はその実施段階にはいつております。

主要幹道を中心とした村道の整備もさらに充実させ、教育施設についてもその拡充をはかるつもりです。

# 年頭のこあいさつ

明けましておめでとございませう。輝かしい昭和四十八年の新春を迎え、みなさまの健康を心からお祝い申し上げます。

また、関連する農林工業の振興にも意を注ぎ、役でも出かせぎの解消に努力してまいりております。本村に適合した工場誘致も昨年中にメドが付き、本年はその実施段階にはいつております。

主要幹道を中心とした村道の整備もさらに充実させ、教育施設についてもその拡充をはかるつもりです。

感謝申し上げます。一九七〇年代もいよいよ三年目を迎え、躍進めざましい経済のなかで市浦村も産業、教育、文化、福祉の向上など、村政全般に著実な伸展を示してまいりました。いまさら申し上げるま

一步をたいせつに踏み始めてまいりたいと思っております。本年もよろしくご指導ご鞭撻くださいませう。心からお願ひ申し上げます。年頭のこあいさつといたします。

# 道路・漁港の整備を促進

## 住民福祉向上も積極的に

村議会議員 木村清左衛門



昭和四十八年の年頭にあたり、市浦村議会を代表し、謹んで新年のこあいさ

つを申しあげます。私は、昨年二月の臨時村議会において、ふたたび議長的重要職につき、その重責を痛感し、新たな決意をもち、その後微力ながら円滑な議会運営と村政の伸展を期して、誠心誠意懸命の努力を傾注してまいりました。

おかげをもちまして、大過なく越年することができました。これもひとえに村民各位のご支援とご協力の賜と、心から感謝の意を表する次第であります。

わが国の経済は、近年世界にもまれにみる高度の成長と都市化の進展は、めざましいものがあります。しかし、過密過疎の問題をはじめ、大気汚染、水質汚濁、交通事故の増大、住宅難など経済社会に大きな「ひずみ」を生じつつあります。

わが市浦村においても、生活安定、福祉増進を図るには今後幾多の重要問題が山積しています。これに対処するためには、さらに以下のごよう道路、漁港等の建設に積極的方針をとり、適切な産業基盤の整備を図り、生活環境施設を整備し、村民の福祉向上を図る諸施策を積極的に推進し、めざましい心、きよい水、あたたかい空のあふれる村、こんな市浦村をつくりたい。そ

のため施設を講じなければなりません。これがおわれに課せられた責務であり、関係機関と相まって最大の効果をあげるよう努力する覚悟であります。

昭和四十八年こそは、本村のよりいっそう躍進の年として、村政全般にわたる内容充実に向けた最大の努力を傾注する所存であります。なにとぞ倍旧のご指導とごべんごつをお願ひ申し上げます。

### 謹賀新年

- 村長 白川治三郎
- 助役 三重 貢
- 収入役 葛西 善六
- 教育長 斎藤 敏勝
- 総務課長 山下 常一
- 企画室長 三上 義実
- 民生課長 高松 隆三
- 経済課長 三和 貞三
- 建設課長 石岡 陽一
- 福利出張所長 高橋 精一
- 十三出張所長 安田 源藏
- 相内保育所長 山口 定雄
- 相内十三診療所長 南 基欽
- 外職員一同

成人式へどうぞ

服装簡素にして下さい

十五日・相内児童館で

ことしの成人式は十五日午前十時から相内児童館で行ないます。...



成人式 身を飾る 心を飾ろう

成人者名簿

この名簿からもれているかたは、教育委員会へお知らせください。

相内・太田・桂川

- 米谷 幸三(征雄 四男) 相谷 精一(重蔵 弟) 三和 章治(太次郎 長男の長男)...

- 三和 章治(太次郎 長男の長男) 久子(ハル 七女) 吉田 豊(吉美 四男)...

成人になられるかたがたへ

十五日は「成人の日」です。おとなになったことを自覚して、みずから生きぬこうとする青年を祝い励ます国民の祝日です。...

- 横山 久江(スヤ 五女) 秋元 収(直衛 三男) 奈良 龍三(キナ 長女)...

# 冬の交通安全

例年、雪道や凍結した道路では、スリップ事故や追突事故が多く発生します。また、ふぶきのため運転席の視界も悪くなり、前方の見通しが困難なことから、急ブレーキを踏むなど、歩行者を死傷させたり駐車中の車両に追突するなどの重大事故が発生します。

## 多発する

### スリップ事故



スピードの出しすぎが事故のもと

冬、雪道や凍結した道路では、スリップ事故や追突事故が多く発生します。また、ふぶきのため運転席の視界も悪くなり、前方の見通しが困難なことから、急ブレーキを踏むなど、歩行者を死傷させたり駐車中の車両に追突するなどの重大事故が発生します。

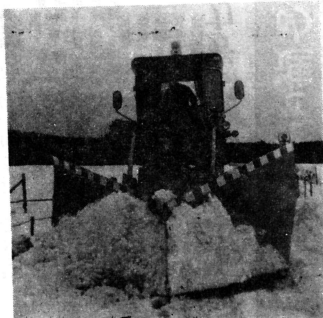
夏るときよりも、倍くらゐ多くとること。  
 △思わぬ路外脱輪等にそなえて「スコップ」「つるはし」「むしろ」「土砂」等を携行すること。  
 △路切りでは積雪やふぶきのため、左右の確認が必ず停止して夏分より長い時間をかけて左右の安全を確認すること。  
 △雪道は、とくに右側に寄つて歩きましょう。  
 △雪のため道幅がせまくなっています。また帽子やずきんなどをかぶっているので、音に聞きががしいります。右側いっばいに寄り、前ばかりでなく後ろの方向も注意しましょう。

## 除雪にご協力ください

### 青空駐車・雪のまた出しはやめる

本格的な冬を迎え、果も村も除雪作業に懸命です。とくに村では十一月に五百九十三万一千円でモーター・グレーダーを購入し、村道（幹線道路）の除雪をしています。除雪は交通を確保するばかりでなく、防火防災の保健衛生活動に支障のないようにするためのものです。つぎのことにご協力

- ▽道路上に自動車、馬ソリ、リヤカー、魚箱などおかないこと。
- ▽特に青空駐車は、その部分だけ除雪できません。夜間作業が多いので大変支障になります。
- ▽除雪後、両側に寄せられた雪がふたたび道路上に投げられているのが見受けられるので、そのようにならないように。
- ▽除雪車は前後十村以内は



村が593円で購入したグレーダー

死角になる場合もあり、非常に危険です。絶対に近寄らないでください。路上の子どものスキー、スケートあそびは事故の元です。すくなく、やめさせてください。

▽路上で自動車事故が、運行できなくなつたときは、目じるしに赤旗を立ててください。

▽除雪作業によつて事故が発生したときは、すみやかに役場建設課か土木事務所に連絡してください。特に物件破損はすぐ報告がないと原因究明が困難となり保障の対象外となります。

## 新有権者の感想文募集

締切日は31日！

自治者と公明選挙連盟では、「成人の日」を迎え、新有権者または社会人として地方自治や国政への参加について、自身自身で経験し、もしくは考えたり、感じたりしたことをまとめた感想文をつぎにより募集しています。

▽枚数：一、六〇〇字以内（四百字語原稿用紙四枚以内）

▽応募資格：昭和二十七年一月一日から昭和二十八年十二月三十一日まで生まれたもの。

▽締切期日：昭和四十八年一月三十一日（当日づけ消印のあるものは有効）

▽提出先：青森県選挙管理委員会（青森市長島の一、一、県庁内）

▽入選決定：二月二十五日ごろ（本人へ通知）

▽賞金：最優秀一萬二千元、入賞一篇につき一千元、佳作には記念品を贈呈します。

▽応募上の注意：住所、氏名（ともしフリガナをつけ）、性別、生年月日、原稿の末尾に明記すること。

# 児童手当の支給範囲が拡大されました

## 四月から10才未満を対象！

児童が心身ともにすこやかに成長するように昭和四十七年一月より児童手当制度が生れました。この制度は段階実施をしております。

昭和四十八年三月三十一日までは、十八才未満の児童を三人以上養育しており、そのうち一人以上が五才未満の児童であることが、児童手当を受ける要件でした。昭和四十八年四月一日

# 国保の被保険者証の 交付をうけてください

## —役場・各出張所—

国民健康保険の被保険者証(保険証)の更新交付は十二月十九日から二十二日までの四日間、各地区で行ないましたが、まだ多くのかたがたが新しい保険証の交付を受けていません。いままで使っていた保険証はすでに効力がありませんので、まだ新しい保険証の交付を受けていないかたは、役場(相内 太田 桂川)または各出張所へおいでください。世帯内に異動があるときは、印かんを携参してください。また、古い保険証も忘れずに、三月三十一日まで有効ですから従前どおり使ってください。

を出して増額の手続きをすることが出来ます。

○認定請求書受付期間  
昭和四十八年一月五日より三月三十一日まで

○持参するもの  
印鑑、社会保険被保険者証、健康保険証ではありません。

なお、くわしいことは、総務課児童手当係までお問い合わせください。

# 県立郷土館の資料収集に協力を

ことしの秋開館の県立郷土館では、いま資料の収集を行なっていますが、まだ展示や研究のために、もつともつと資料が必要で、す。"こんなものが"と思つて、倉の中や物置小屋などにねむらせているものはないでしょうか。つぎのものがありませんら、ぜひご連絡ください。

- 民俗資料  
漁業、古い魚網、うき、漁具、いかり、たこつぼなど
  - 商業のもの、看板、その他
  - 信仰、おしらさま、かつ
  - 歴史資料  
武器、やり、刀、よろい
  - 考古資料  
土器、石器、土器、岩版
  - 自然資料  
魚貝類、底引きなどで網に入つた貝類
- 連絡は役場企画室まで。



# 交通安全

## わたしの発言



# 道路の横断は左右をよく見て

昭和四十五年 村元良悦

年々車の数がふえ、その道路を横断するときに左右たびに交通事故がおきて命が失われていく、ほくにもラックにひかれそうになったり、友達のおそろしい事故にたつたが、どうなるのぞうし。どんなに急ぐときでも、道路を横断するときには必ず、道路を横断するときには必ず、意が右のおそろしい事故にたかすきずとつだけ、交通事故をなくしようではあります。わねがどきどきしました。

# 交通規則を守ろう

昭和四十五年 竹谷悦子

私が母といっしょに五所川原にいった時、道路を歩いていた、二・三才の子が、自動車のひかれてしまいました。そばへよつてみたら、まわりの人が流れてきた。まわりの人が流れてきた。まわりの人が流れてきた。おしり、その子の母親がきて、泣きながら病院へ連れてきた。その子はど

# 小学校の入学予定者は88人

女子は丙午(ひのえうま)で減少

## 脇元・磯松は女子がたった四人

四月に小学校へ入学予定の児童は、全部で八十八人(男五四人、女三四人)です。昨年にくらべて八人増えていますが、女子は十四人減っています。これは四十一年の生まれ年が、丙午(ひのえうま)にあたり女の子を産まない傾向にあったためとみられます。なかでも、脇元・磯松地区では女子がたった四人で昨年より十四人少なく、丙午の縁起をかついだ結果がよくあらわれています。

なお、入学予定の児童の氏名は住民票など関係公簿によって調査したのですが、もし、もれているかたがありましたら、教育委員会へお知らせがいます。

### 相内小学校

(男18・女15)

- 柏谷 修子(一郎) 四女
- 三和 聖徳(孝徳) 長男
- 米谷 達男(孝徳) 長男
- 三和 勳(忠市) 長男
- 成田 武司(忠市) 二男
- 佐藤和彦(哲也) 長男
- 佐藤公彦(良五郎) 三男
- 三和裕三子(博明) 長女
- 丁子谷美佐子(政美) 長女
- 奈良和子(源悦) 二女
- 田村 琢哉(俊彦) 長男
- 石戸谷淳子(武子) 長女
- 小笠原孝子(俊治) 長女
- 糸谷隆則(幸治) 二男
- 佐々木好子(博好) 二女
- 奈良 英樹(興三郎) 長女の長男

### 相内小学校

(男18・女15)

- 高橋真津彦(教悦) 長女
- 大谷 知三(孝三) 長男
- 角谷 卓美(信治) 長男
- 奈良 和叔(武一) 二男
- 吉田 明子(悟) 長女
- 山内理香子(久夫) 長女
- 三上 雅光(光治) 長男
- 奈良 篤也(光治) 三男
- 工藤 幸子(政夫) 長女
- 波谷里架子(淑太) 二女
- 佐藤八重子(健一) 三女
- 三和 聰(秀哉) 二男
- 中山 卓二(佐一) 二男
- 三和 新二(隆) 二男
- 平川 香(隆) 長女
- 吉田 宏(義男) 二男

### 桂川分校

(女1)

- 白川 英人(昭美) 二男

### 太田小学校

(男4・女2)

- 山本 春仁(春美) 二男
- 奈良美佐子(正勝) 三女
- 下沢 伝(国一) 長男
- 奈良久美子(高雄) 二女
- 奈良 一鶴(清一) 長男
- 山本 耕一(正高) 長男

### 脇元小学校

(男20・女2)

- 坂本 浩倫(幸隆) 長男
- 工藤 時雄(勝則) 長男
- 三上 文祥(幸夫) 長男
- 成田 卓哉(竹文) 長男
- 小川 雅彦(勝) 長男
- 笹岡 兼光(猪股長一郎兼子) 長女
- 葛西 新子(節一) 長女
- 黒川 克史(進) 長男
- 笹出ひとみ(雄) 長女
- 竹谷 尚敏(一雄) 長男
- 中村 勝彦(清司) 長男
- 竹谷 一行(兼光) 長男
- 竹谷 光昭(兼光) 長男
- 白川 英人(昭美) 二男

### 十三小学校

(男12・女12)

- 木村加代子(一郎) 二女
- 相坂 泰弘(照衛) 二男
- 相坂 孝弘(照衛) 三男
- 奈良 君義(健助) 二男
- 長尾 信一(善満) 長男
- 久保田つみ(久子) 二女
- 古川 郁子(猛) 長女
- 工藤 昭子(弘隆) 長女
- 松江 希子(幸勝) 長女
- 高橋ゆかり(金造) 二女
- 若山由香利(久雄) 長女
- 福島 浩樹(輝美) 長男
- 浜田 直美(一造) 長女
- 新岡 吉昭(てさ) 六男
- 梶浦千可子(誠一) 四女
- 松川 博文(泰藏) 二男
- 松江 重文(重藏) 三男
- 石岡 光男(忠幸) 二男
- 浜田 洋治(昭彦) 長男
- 三橋嘉津浩(綱江) 長男
- 本庄 章幸(一雄) 長男
- 相川 彦子(登作) 長女
- 渋谷 曉美(登) 長女
- 若山 玲子(国司) 長女

- 台丸谷正義(武美) 長男
- 小野光行(光盛) 長男
- 工藤 勳一(義美) 二男
- 三上 順子(友治) 長女
- 新岡 敏幸(恒雄) 二男
- 新岡千由美(千代治) 長女
- 藤田 仁(三男) 三男
- 中山 博行(幸夫) 長男
- 相沢 孝一(繁一) 長男
- 伊南 和春(政幸) 長男



○：新しい年を迎えましてお正月とうございませう。一九七三年という年はどんな年か、まだ明けたばかりですが、前後の事情から私たちがとりまく社会情勢をはきり見つめて、くらしの上の心構えをきめておきたいものです。

○：一月のことを和名で陸月(むつき)といいますが、年の始めの月として、一家はもろろん、隣り近所の人、ひいては世界中の人たちが、お互いにむつみ合ふことが、できまうようにと、願いをこめて、この呼び名が生まれたものでしょうか。

「絶」ということは盛んに使われまして。親と子の、先生と生徒の考え方の違いは、何もいまにはじまったことではありません。ざつとむかしからあったはずですが、もし親子、兄弟、師弟の間になんにも違いが無いとしたら、お互いの進歩も発展もなくするでしょう。

物の考え方や生活様式は時代とともに変わって行くのは当然のことです、その考え方の変わったところだけとあり、目くらし立てることによって起こるのが「断絶」ということになったのでは無いでしょうか。

○：くらしの上では、少なくとも親子三代ぐらひは同じ様式で生きているように思えます。たとえば、お正月の過ごし方です。元日はまずおとそを飲み、多少テレビながら、新年のあいさつをしてから、新年のあいさつを料理と一緒にいただくこの習慣は全国共通のようですね。こういった多量共感できる親子の生活の場があるに、どうしてないこと、断絶が起こるのでしょうか。これは「断絶」を断ちきる共同意識の回復を目標にしたものでないか。

○：青少年の健全育成は、先ずこの辺から始めないことにはどうにもならないでしょう。

# こくみんねんきん

## 20才になったら加入しよう

成人おめでとうございませう。これで皆さんも大人の仲間入りをしたわけですが、これからはいろいろな権利を得ると同時に、社会に対して義務と責任を果たしていくこととなります。

国民年金に加入すること、老令年金のほかには、障害年金や母子年金、遺児年金なども支給され、皆さんの長い人生を守ります。

### 水産修練生を募集します

の生活は自分でよく考えていかなければなりません。二十才になった日から国民年金に加入し、長い人生の生活設計をたてましょう。加入の届は国民年金係で受付けています。

(3) 休業期間 四月から翌三月までの一カ年  
(4) 願書提出期間 一月十日から二月末日まで  
なお、くわしいことは、県水産修練所(電話八戸三三〇〇四九)か県庁漁政課へおたずねください。

制度に加入していない人は国民年金に加入することが義務づけられています。国民年金に加入しますと、老令年金のほかには、障害年金や母子年金、遺児年金なども支給され、皆さんの長い人生を守ります。今日からあなたは、自分

ましよう。▽小さなことに注意したい。委員のかわり目は、カゼをひかない工夫をしましょう。それには、できるだけ、人ごみに出ないようにし、カゼをひいている人のそばにいかないようにしましょう。

## 保健衛生



### ▽夜寒をかばおう

頭寒 足熱は健康のもととわがごとく、頭を寒風にさらしている人もあります。が、お年寄りになると脳の血管もかなり硬くなっているため、寒さにあつと、血管が縮んで血圧があがり、寒い戸外に出たときに、たおれることもあります。冬には、帽子、手袋、えり巻きを忘れないようにしましょう。

## 冬のお年寄りの健康

家の中のシキイなど、ちよつとした高低のあるところや、すべりやすい廊下、階段などでころびやすくなるので、冬は、とくに着ぶくれで動作が不自由ですが、家人も気をつけたいものです。

お年寄りの健康にストップをかけるのは、決して大きな病気ではなく、カゼ、単純な下痢、小さなケガなどです。

急に、あたたかいところから寒いところに出たり、また、その反対の気温、室温の変化にさらされることは、血圧の急な変化がおこ

▽冬の入浴 急に、あたたかいところから寒いところに出たり、また、その反対の気温、室温の変化にさらされることは、血圧の急な変化がおこ

るので、さけたいものです。そのために、冬の入浴には、よく気をつけましょう。冬の脱衣場も、あたたかいところがぞましいのです。

風呂の温度は、あつすぎないようにしましょう。浴槽に入る前には、充分か湯をしても、身体をお湯にならします。浴槽には、静かに入りましょう。

はじめるから急に、肩までつかないようにしましょう。心臓の下あたりまで、ますつかり、そのあと静かに、肩までつかりましょう。長時間、上りきわに水をあびることはさげましょう。また、湯がめをしないようにしましょう。

▽冬の入浴 急に、あたたかいところから寒いところに出たり、また、その反対の気温、室温の変化にさらされることは、血圧の急な変化がおこ

るので、さけたいものです。そのために、冬の入浴には、よく気をつけましょう。冬の脱衣場も、あたたかいところがぞましいのです。

## 窓の戸籍

- 佐藤藤 (相内) 正治
- いつまでもおしあわせに
- 伊藤 清司 (札) 元魁
- 石藤 優子 (札) 元魁
- 春日孝臣 (脇) 元元
- 葉西しげ子 (脇) 元元
- 佐藤 和代 (相) 限内
- 竹本 竹治 (相) 限内
- 河畑 康則 (小) 松
- 藤田 俊子 (磯) 小
- 佐藤 房孝 (相) 道内
- 大性多喜雄 (相) 力内
- 新渡戸 清子 (盛) 元岡
- 今 清子 (常) 元岡
- 伊南 勝子 (磯) 盤松
- 佐藤 勝子 (常) 盤松
- 仁井田 いわよ (郡) 山元
- 植野 光国 (太) 田田
- 小山桐君枝 (五所川原) 田田
- 青山内大 (十三) 文明
- 古川英昭 (十三) 猛
- 丸山信彦 (太田) 義深
- 木津登貴 (相内) 良一
- 中島彰則 (十三) 四郎
- 八木沢泉 (十三) 良藏
- 木村ユキ子 (十三) 由雄
- 成田和美 (相内) 長代
- 和島静子 (磯松) 賢治
- 相川昌弘 (十三) 節
- 藤田玲子 (磯松) 元
- 山本新次郎 (磯元) 悦雄
- 岩本利也 (十三) 利一
- 福島鉄也 (十三) 浩
- 新岡安藏 (磯松) 74才
- 中井隆一 (相内) 55才
- 木谷吉喜郎 (相内) 71才
- 加福善藏 (十三) 78才
- 木村ユキ子 (十三) 0才
- すず田みよ (脇) 84才
- 佐々木勝雄 (相内) 55才
- 橋本康次郎 (磯) 内原
- 三上澄子 (相) 内原
- おくやみ申し上げます
- 村上タナ (十三) 73才
- 奈良興三郎 (相内) 72才
- 種田洋子 (磯松)
- 種田洋子 (磯松)
- 種田洋子 (磯松)



(9)

### 安東氏の遺跡をたずねて②

#### 山内 英太郎

開の古碑は蓮華庵と同じ車は着く。関は国道に抜けた。振り返ると内連の蓮華庵の長良海岳氏が赴任して遷化した浄安寺がある。寺の後ろの山には興の天然記念物に指定されている亀杉がある。樹高は七、八百年も推定される大杉は、また、繁茂がさかんで衰いを見せていない。

その境内には古碑が数十基建てられている蓮華庵の古碑と石質や様式も同じようである。いずれも北朝の年号が多く、安倍の性も見られる。季長の墓石もあつた。ふもとに田園は南朝の天皇名井宮義親王の居住した寺院の跡がある。このふかしの碑を集めて亀杉の所に移したという。義仁親王は吉野からひそかに逃れ奥州にくたり、安東氏に兵を率うるよう要請のため、秋田から東田流(つが)安東氏に頼つたが、安東氏は内政上出兵できず吉野へ帰ることも至難となり、出

さらに三階に達しているという。迷路がありとても気が持が悪く行けそうもなく、恐ろしい思いさえした。総延長四キロ以上。これに要した年月や人員は今の世でも想像がつかない。莫大な人手を尽したものと考えられる。

安東氏の勢力がいかにかほう大なものであつたかにはうばなで感懐無量であつた。

安東教季の墓石に拝礼丘(なみおか)葬つた古書に伝えられている。垂乳銀杏がある。これも天然記念物に指定され、ここに記念堂があり銀杏の石標が建てられている。

銀杏は高さ四十餘、周囲十六層もあるという。この関は安倍の莊園と称される。その莊園には、関所のあつた所だといわれている。

金ヶ沢の洞くつに驚くやがて、北金ヶ沢に着く。金ヶ沢は古くは金井や称され金井城があつた所で、海上を監視するための一大洞くつの隠城がある。用意した電灯を持って、入洞すればコウモリが無数に飛んでいる。夜光性の動物なので、いずれも壁や天井にぶらさがっている。洞は落穴があり、誤つて落ちたら命がない。乗つて窓から覗けば海は眼下に開ける。ここは一階にあたり、

この辺から岩石の急斜面を歩、根の根を伝つて一歩一歩、草をばりながら登り進む。全く老骨の身には心臓の鼓動が激しく、疲れが甚しい。またさらにどうくつがある。筆者はここへは登れなかつたが小さな堂が建てられている。堂の額には見入山観音と書かれていた。

津軽三十三番中九番の札所となつてゐる。その後ろはどうかである。どうくつの入口に建てられてよく、こんなけししい猫の目みたいなようなけししい所に建てられたものと思つた。信仰の力は偉大なものであると思わされるを得ない。洞くつの両側の壁に仏像が浮き彫りに刻まれている。入口には仏像のかけらが落ちていた。空気にふれてこられたのであろう。

以前、この堂は山下にあつたが、巡礼者が山へ登り穴の仏像を拜もうとしてケガ人が続出するのを堂を上へあげ、穴を二階位で閉鎖したので古者が語つてくられた。この閉鎖した土石を取り除き、この堂を調べたら立派な文化財としてもまた安東氏文化を解明するに重要な意味を持つものがある。これは疑いのない、といふ。陸奥新報社刊の津軽霊場めぐりに、一番けわしい所にあつた。一番けわしい所にあつた。一番けわしい所にあつた。一番けわしい所にあつた。

**市浦村職員採用予定者**

**初級試験を実施します**

2月3日・青森市で

<p>市浦村職員採用予定者初級試験を次のとおり行ないます。</p> <p>(一) 職種          (一) 職種          (二) 採用予定人員          事務職員、保母者各十名</p> <p>(二) 受験資格          (1) 受験資格(1)高          等学校卒業          または同等程度以上の学力を有すること、満二十歳以下であること(四十八年四月一日現在で高等学校卒業見込みの者をふくむ) (2) 本村から通学可能な者</p> <p>(三) 第一次試験          ○日時 昭和四十八年二月三日(土) 午前十時三十分</p> <p>○場所 青森市長島一丁目、青森県農業会</p>	<p>市浦村職員採用予定者初級試験を次のとおり行ないます。</p> <p>(一) 職種          (一) 職種          (二) 採用予定人員          事務職員、保母者各十名</p> <p>(二) 受験資格          (1) 受験資格(1)高          等学校卒業          または同等程度以上の学力を有すること、満二十歳以下であること(四十八年四月一日現在で高等学校卒業見込みの者をふくむ) (2) 本村から通学可能な者</p> <p>(三) 第一次試験          ○日時 昭和四十八年二月三日(土) 午前十時三十分</p> <p>○場所 青森市長島一丁目、青森県農業会</p>
---	---

館六階ホール  
 ○試験の種類 教養試験、適性検査、作業検査  
 (四) 第二次試験 青森で受験した第一次試験合格者について、二月下旬市浦村役場で実施する予定

(五) 受験料 一月五日(金)まで  
 ○提出書類 受験書(役場備え付け)、履歴書、健康診断書、最終学校卒業証明書、保母資格証明写真  
 なお、この試験は単人身事委員会委託して行なうので、合格された人は市浦村職員採用候補者名簿に高ポイント登録され、必要に応じて採用されます。

○お問い合わせは総務課へお問い合せください。

**編集室から**

初稿の刷りあやまりし表紙かな。久保万太郎

○村民の名おさま、この月一旬号をおまけるまでに一月も前から企画を立て努力してまいりました。いかがでしょうか。

○：読感を感じて下さい。毎年あてお寄せください。